

Ⅵ 栽培漁業振興のための技術開発試験（海洋博関連事業）

沖縄国際海洋博の国の出品展示物として“海洋牧場”が設置された。この“海洋牧場”の展示を機会に地元産魚類の養殖の可能性および県産重要魚種の一つであるタカサゴ類の生態を明らかにするための調査、試験を海洋牧場内およびその隣接水域で実施した。

調査試験結果の詳細については“昭和50年度栽培漁業振興のための技術開発試験結果報告書”の別冊を出しており、ここでは概要に止める。

1 調査期間

昭和50年10月1日～昭和51年1月18日

2 調査地域

本部半島海洋牧場および隣接海域

3 試験調査項目

- I 本部海洋牧場周辺の環境
- II アイゴ、クロダイ幼魚養殖試験
- III 海洋牧場囲い網内外の魚類相
- IV タカサゴ類標識放流試験

4 担当者

伊佐次郎、伊野波盛仁、友利昭之助、川崎和男、喜屋武俊彦、金城武光
当真武、上原孝喜、吉川一男（以上本場）
嘉数清、島袋新功、神里裕夫、多和田真周、藤本裕（以上支場）

5 協力機関

海洋博事業本部牧場課
本部漁業協同組合
本部町役場
羽地漁業協同組合